

三ツ池公園リノベーション ワークショップニュース

vol.2



みんなの声で公園の未来をつくる 「三ツ池公園リノベーションワークショップ」が開催されました！

このワークショップでは、老朽化が進んでいる県立三ツ池公園のプールなどのあり方を、利用者みなさんと一緒に、魅力を高めるアイデアを出し合いながら“これからの姿”を考えていきます。全4回のうち令和8年2月28日(土)に第2回目の「三ツ池公園リノベーションワークショップ」を開催し、参加者のみなさんと活発な意見交換を行いました。



第2回 開催概要

日時 令和8年2月28日(土) 14:00~17:00
 場所 三ツ池公園パークセンター
 今回のテーマ 未来のプールエリアについて考えてみよう！
 参加人数 17名

当日の流れ

開会

ワークショップの
説明

プールエリアの
現状と課題

グループワーク

グループ発表

閉会

おつかれさまでした！

日常から備える防災へ「フェーズフリー」の紹介

開会のあいさつの後、アドバイザーを務める神奈川大学の落合助教より、最近の防災分野での考え方である「フェーズフリー」が紹介されました。身のまわりにあるモノやサービスを日常だけでなく、災害時にも役立つようにデザインしようという考え方です。

普段から公園を利用している人々が災害時に使うと、比較的円滑に運営される避難所となることが多く、災害時の備えにもつながることから、日常的に公園へ関わり、良い公園づくりを続けることの大切さが伝えられました。その後、ワークショップの内容や目的について説明が行われました。



プールエリアの主な課題

- 最も古いプールでは整備から60年以上経過しており、老朽化により漏水が度々発生している。2019(令和元)年度は漏水により営業休止
- 利用者数はピーク時の1/3程度
⇒施設が老朽化し、多様化する市民ニーズに応えられていない懸念



プールについてのアンケート結果

- 全体的にプールへの不満点は少ない。
- 「～小学生」「40歳代」で「夏衣履」「トイレ」への不満点が多い傾向がある。「～小学生」「40歳代」は子どもとその親世代であり、実際のプール利用者層であると推察できる。
- 子どもを遊ばせる親や友人と遊ぶために利用する人は、三ツ池公園プールについて「**安く近くで手軽に遊べる場**」としての価値を感じている傾向にある。
- 「利用したことはない」と回答した人は、「利用料金が値上がりしているから、スライダーなど設備が充実した新しいプールを造る」と回答する人が多い。
- 一方、利用頻度が「毎年10回程度」と回答した人は、「使用できなくなるまで傷んでいるところだけ直す」と回答する人が多い。

未来のプールエリアについて、参加者のみなさんで思い思いに考えました。

プールエリアでの過ごし方やどんな活動をしたいか、A～Cの3つのグループに分かれ、グループ内で思い思いの意見を出していただきました。

その後、グループごとに意見を共有し、そこからさらに春・夏・秋・冬の四季や、朝・昼・夕といった時間帯ごとの過ごし方や、やってみたい活動をふくらませていきました。



各グループからはたくさんのご意見が出てきました。季節ならではの楽しみ方や、一日の中で変化する雰囲気を活かした使い方、また、立地を重視したり、季節にこだわらないプールエリアの活用方法など、さまざまな視点から魅力的な意見がありました。

皆さんからのアイデアをもとに、もっと行きたくなるプールエリアづくりを進めていきます。



「未来のプールエリア について考えてみよう！」

今回の各グループの発表では、プールエリアのこれからの使い方について、さまざまな視点からアイデアが出されました。

それぞれアプローチは異なりますが、どの提案も立地の良さを生かしながら、多くの人にとって使いやすく魅力的な空間を目指している点が共通しており、今後の方向性を考えるうえで多くのヒントが得られる内容となりました。



Aグループ

意見交換の視点

- 季節にこだわらずプールエリアの活用方法を検討した
- パークセンターに近い公園内で貴重な平地を有する一等地という立地を重視して検討した
- 特定の機能に依存せず、複合的に幅広い形で使える施設を目指す

主なご意見

- 室内で温室のような機能強化を行い、近隣小学校も使えるようにして使用機会を増やす
- 水の生き物を主体としたビオトープのような設備を作り、様々な生き物や自然と触れ合える場所にする
- 楽器を鳴らせるような室内型設備をつくる

Bグループ

意見交換の視点

- 市民プールとしての機能を残す方向で検討した
- その上で、運営や制度面なども含めて多面的に検討した

主なご意見

- 日よけなどプールの利便性をアップさせる工夫をする
- 曜日や時間で区切って利用ルールを変更する(例:今日は水鉄砲・水風船が使える日、今日は犬と泳げる日)
- ジョギングする方向けに、プール利用なしでもシャワールーム・更衣室として利用できる制度にする
- ピロティ下にベンチを設置し、周りのケヤキ並木を眺める場所として活用する

Cグループ

意見交換の視点

- プールという用途にこだわらず、何をしたいかを検討した
- 意見を通年利用/期間限定利用、常設施設/仮設・イベント的施設で分類整理した

主なご意見

- 夏の暑い時期でも朝の涼しい時間帯を活用し、朝市を開催する
- 夜間のプールエリアの活用として、肝試しやナイトプール、星を見る会などを開催する。また、夜の公園は暗くて怖いので、冬のライトアップをして明るくする
- 桜が綺麗な場所という特性を活用し、花見エリアとして利用する
- バーベキューエリア、キャンプエリアとして活用する

ほかにもたくさんのご意見が出ました。ありがとうございました！
今後、皆さんからのアイデアをもとに、もっと行きたくなるプールエリアづくりを進めていきます。



参加したみなさんの感想 (一部抜粋)

- 第1回に参加できなかったのが残念だったくらい楽しかった。すてきな公園にリニューアルされることを楽しみにしています。
- 時間が足りなかった。議論が深まり切らなかった。もっと意見を出し合いたかった。
- 夏のプールの子供の意見がききたい。
- プールが使用されているところの写真や動画があると、イメージがしやすいと思いました。

次回の開催が
決まりましたら
チラシ等で
ご案内します

あなたの声が、未来の三ツ池公園をつくります。
子どもから大人まで、どなたでも参加できますので、ぜひご参加くださいね！

お問合せ先

神奈川県 横浜川崎治水事務所 公園課 …… ☎ 045-411-2569 (土日祝を除く 9:00 ~ 17:00)
(株) 建設環境研究所 (運営サポート) …… ✉ MitsuikePRW@kensetsukankyo.co.jp